



始業式で挨拶をする児童（4月7日）

下級生を引っ張る存在になりたいです。そのために、一年生が安心できるように関わっていきます。また、委員会活動に積極的に取り組み、最後までやり遂げます。

まず勉強をがんばります。特に社会科や算数科で、できることを増やしたいです。修学旅行も楽しみです。担任の先生と仲良くし、信頼される六年生になります。

始業式での児童代表の言葉

最学年としての自覚を感じました

【4月の主な行事】

- 9日（水）入学式
- 17日（木）各種学力調査
- 18日（金）歓迎集会・遠足
- 28日（月）授業参観・懇談会
育友会総会
- 29日（火）昭和の日
- 30日（水）全校・生活集会

新年度のスタート

目を輝かせた子どもたちとの出会い



春を感じる風景（正門から 4月9日）

西山台



長崎市立
西山台小学校
文責 校長

4月7日（月）は、令和7年度一学期始業式でした。登校の様子を見てみると、目を輝かせた子どもたちばかりでした。これから始まる学校生活に大きな期待をしていることが伝わりました。

令和7年度は「人から好かれる人を育てる」という目標を立て、これから様々な教育活動に取り組んでいきます。始業式の校長講話では、「人から好かれる人になるために、まずは自分の力を高めましょう。そのために、授業に集中し、できることやわかることを増やしてください。また生活面ではルールを守って人に迷惑をかけるない行動を身に付けましょう。次に、人のことを知ってください。そのために、会話をしたり、協力したりして、人の気持ちを理解できる人になってください。みんなで、学びたい、やさしい、元気がいっぱい、笑顔いっぱい、笑顔を創っていきましょう。」と話しました。

西山台小学校の教職員

春休み中の四月、私たち教職員は、子どもを迎える準備をするために、教育計画や児童理解等、多くの会議や作業をして過ごしました。仕事をききこなす本校職員の姿から「本校教職員はどんな人なのだろう」と思っています。学校での様子を観察してみました。「教育に全力で当たっている」「工夫を加えている」「自分の仕事は確実にやり遂げる」「同僚を思いやる」「明るい」「よく笑う」「仲が良い」「学校づくりに意欲的に取り組んでいる」と思いました。さらに、教育への情熱と子どもたちへの愛情を感じました。

素晴らしい教職員ですが、教育は、学校だけでは身に付きません。これまで同様、家庭や地域の皆様のご協力をお願いいたします。

校長室から

私は5年前まで、三原小学校に勤務していました。西山台小学校とは、100人パトロールや門松づくりを一緒にしたこと覚えていてます。

年度初めには、地域の方が校長室にご挨拶に来てくださったり、挨拶回りで以前一緒に務めた方と出会うたりしました。三川中学校区に戻ってくることも何かのご縁だったようです。タイトルの下にQRコードを貼っています。スマホ等で読み取って、本校ホームページを通して学校を知っていただければと思います。